

# 3R瓦版 (9月号)



© 2016 フジコ イトウ All Rights Reserved.

## プラスチックの射出成形って？

皆さんは、プラスチックの射出成形って何だか知っていますか？  
現在皆さんが生活しているうえでは、プラスチック製品は切っても切れない存在になっていますよね。プラスチックの製品で思い浮かべるものって何でしょうか？ペットボトル、発泡スチロールの食品トレイ、テレビのリモコン、タッパー、化粧品のコンパクト、ボールペンやシャープペンシル、ご飯の茶碗、上げだしたらきりがありません。その中でも射出成形のプラスチック製品は最もポピュラーな製法で、生活のあらゆる場面に無くてはならないものになっています。では、どうやって作られるのでしょうか？色々な種類のプラスチックは石油を主原料に作られた化学製品です。プラスチックには熱すると溶けるものと、固まるものがあります。皆さんがよく日にするプラスチックは前者の熱で溶けるものです。鯛やきや、人形焼を思い浮かべてください。粉を溶かした液体を型の中に流し込み、焼き固めると同じ形の鯛やきや、人形焼が短時間にたくさん出来上がりますが、同じように溶かしたプラスチックを型の中に水鉄砲を発射するように流し込み、冷え固まって取り出すことを繰り返し、大量生産が可能になったのです。歴史は浅く、一般的にプラスチックの製品が生活の中に入り込んできたのは、まだ半世紀ちょっと位でしょうか？安くて強くて複雑な形のものが、大量に簡単に作れますので、どんどん広まったのです。しかしながら、簡単に作れるので、次に問題になるのが使い終わった後の処理です。プラスチックは土に埋めても腐らず、燃やせば大気汚染の原因にもなってしまいます。今問題になっているのは、投棄されたプラスチックが海中で粉々になって浮遊するマイクロプラスチックとなり、それが食物連鎖に入り込み私たちの体にまで影響を及ぼしていることです。

私の会社は、そのプラスチックを射出成形で様々な製品にして出荷しています。プラスチックのリサイクルは比較的簡単にでき、ゴミとして処理しなければ、またプラスチックとして他のものに姿を変えることもでき、処理をすれば石油にも戻ります。しかしながら、安価なプラスチックを多大な労力を使ってリサイクルするより、ゴミとして捨ててしまうほうが簡単で楽だったのです。私たちの工場もリサイクルされた材料よりも、新しい材料を使って製品を作るほうがやっぱり楽です。

しかしながら、楽ばかりを考えていたのではいけないですね。ですから、私たちの工場からは製品は製品として出荷しますが、製品以外のプラスチックは全てリサイクル用の材料として、専門のリサイクル業者に買い取ってもらうようにしています。生産には最新鋭の機械を使うことにより、消費電力を抑え、排水も外部には排出せず循環をする。また、工場の屋根にはソーラパネルを設置し、出来る限り環境に優しい「モノづくり」を心掛けています。作る人、使う人が少しずつ意識を変えて、皆で明日（未来）を考えていきたいですね。

東新プラスチック株式会社 代表取締役 高橋 誠

REPAIR  
FACTORY

(株)本杉工機

京都府久世郡久御山町田井新荒見 220 番地

tel : 0774-66-6254